

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号) 企業・団体名 (株式会社 ニットー)

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 (必須)			・雇用、教育、昇進、福利厚生などあらゆる雇用条件で差別しない体制を構築し、役員が積極的に関与している(採用活動への積極的参加など)					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 (必須)			・ハラスメント禁止を就業規則に明記している ・研修の実施、相談窓口を設置している ・職場いきいきアドバンスカンパニー認証を取得済					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 (必須)			・働き方改革関連における労務管理教育を実施している ・月に2回、残業状況を幹部で共有し過度に増加している部署が無いかチェックしている								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 (必須)			・日系人が派遣社員として就業しているが、日本人派遣社員と同様の教育、待遇をしている				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			・労働安全衛生委員会を設置し、職場の安全と衛生環境の整備に取り組んでいる。 ・職場の安全管理のために改善提案制度による安全な職場維持を行っている ・令和元年、中野労働基準協会から功績賞を受賞した(地域社会の労働衛生向上発展に対する活動)			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 (必須)			・メンタルヘルスに関する職場の理解を促すための研修を実施している ・メンタルヘルスマネジメント検定合格者を相談窓口を設置している			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			・視覚障害者の就業機会を積極的に確保し、安全管理の中で作業ができる体制をとっている					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 (必須)			・職務や役割に応じた研修体系を整備し実施している(階層別研修、労務管理研修、品質管理研修など) ・教育とその仕組み改善のプロジェクトチームを設置し、社員教育の取り組みを行っている。				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 (必須)			・同一労働同一賃金等の原則に沿った就業規則の整備、対応を行う ・職場いきいきアドバンスカンパニー認証を取得済					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・健康経営優良法人2019年に認定された ・全国健康保険協会の「健康づくりチャレンジ宣言」を行っている			3					8									
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 (必須)			・研磨汚泥から出る産業廃棄物の種類、量などを把握しマニフェストに基づき管理、処理を行っている。 ・汚水汚泥量を削減するために、製造現場において、汚水汚泥の削減改善を行っている											11.6	12.4		14.1			
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 (必須)			・2020年、エネルギー管理優良事業者として関東経済産業局長表彰を受賞した(エコキュートの排水の廃熱利用による使用電力削減)							7.3						13				
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 (必須)			・継続的に温室効果ガスの削減に努めている ・2018年、長野県より「事業活動温暖化対策計画書制度の第一次計画期間」における目標値クリアにより表彰された							7.2 7.3					12.4	13.3				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 (必須)			・法令で規制されている有害化学物質を把握、アセスメントを行い、リスクを踏まえた適切な使用および管理方法を実施し必要最小限の使用量としている			3.9			6.3					11.6	12.4					

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
15	環境	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)			・環境に配慮した材料、副資材の購入に努めており、エシカル消費による生物多様性保全に配慮している						6.6									15		
16		【3 Rの推進】 ・ リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)			・再生資源等ゴミの分別を推進している ・安全衛生委員会主体のパトロールを通じ分別管理を徹底している。											12.5		14.1				
17		【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・製造工程で発生した汚水は処理等で濾過し、鯉が泳ぐ環境池を通じて河川放流している						6.4 6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)			・2005年、ISO14001を取得している			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)			・取り組み内容についてHP、コーポレートデータで公開している(受賞履歴など)											12.6						
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・工場棟への太陽光パネルの設置と利用、グリーン電力の使用に努めている							7.2						13				
21	公正な事業慣行	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・非合法材を使用していないことの確認を行っている												12.2	13	14	15		
22		【汚職・贈収賄防止】 ・ 汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			・須高防犯協会に加入している ・汚職、贈収賄禁止等を含む行動規範を整備し、社内浸透を図っている																16 16.5	
23		【公正な競争】 ・ 不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			・経営理念にて「企業存続のための適正な利益」を得ることを掲げ、社員へ周知している ・不正競争行為を含む行動規範を整備し、社内浸透を図っている																16	
24		【知的財産保護】 ・ 知的財産の保護に取り組んでいる	基本 (必須)			・商標等知的財産権の取得、管理をしている。 ・社内で業務を通じて得られた技術情報を把握し、管理している ・他社の知的財産を尊重し、侵害しないように対応を行っている								8.2 8.3	9								
25		【個人情報保護】 ・ 個人情報を適切に管理している	基本 (必須)			・「個人情報に対する基本方針」を定めて公表し、体制を整備している																16	
26		【紛争鉱物】 ・ 紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ (任意)			・購入する資材について、紛争鉱物の対象となる鉱物の使用がないことの確認を行っている																16	
27		【サプライチェーン管理】 ・ サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・取引先との対話を通じて、環境面への悪影響の防止、倫理面への適切な対応に対して認識を共有し、確認活動を行っている					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・ 中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト：https://www.biz-partnership.jp/	基本 (必須)			・2023年4月に「パートナーシップ構築宣言」を作成し公表している。			3					8	9	10							17

項目番号		チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 (必須)			・顧客と安全性を考慮し取り交わした仕様書に基づき納入することはもちろん、製造過程において環境に配慮した活動をしている			3.9									12.4					
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 (必須)			・顧客からのクレーム対応など、品質を保証する仕組みを構築している ・ISO9001を取得している									9								
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・環境影響の把握を行い、製品加工の工程設計を行っている						6						12	13	14	15		
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・特定の社会課題の解決をテーマとして製品の加工方法の開発を推進している。(環境影響のあるガスの発生を抑える加工方法の開発)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 (必須)			・地域との対話、見学会、清掃活動、街道整備などを実施し、事業による地域への影響の把握を行い改善に努めている				4					9		11	12		14	15		17
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・社会貢献活動の一環として、ベルマークサポーターとして活動をしている ・須坂市と「災害時における井戸水の給水協力に関する協定書の締結を結んでいる				4							11			14	15		17
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ (任意)			・資材の購入は地元企業からの調達を優先にしている								8	9		11	12	13				
36	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本 (必須)			・経営理念を明文化している ・経営者が理念を持ち、経営理念や目標を全体昼礼などを通じて社員に説明、共有している								8	9								17
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本 (必須)			・ISOにおける法的要求事項の定期的レビューを行っている ・社内報や掲示板等で法令順守(コンプライアンス)の重要性を全社員向けに発信し、周知している																16	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本 (必須)			・管理責任者(担当役員)を任命している ・経営企画にISO事務局を置き管理者を任命している																16	
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本 (必須)			・適宜ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、具体的な要求事項や改善指摘に対して継続的な改善活動を行っている。																16	17
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ (任意)			・経営者レビュー、ISOの定期監査、内部監査などを通じ、リスクを洗いだしを行い、優先順位を付けた上で継続的な改善活動を実施している																16	
41		【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・CSR方針を策定し周知している																16	
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ (任意)		【予定】	・【予定】事業継続計画(BCP)、中小企業強靱化計画の策定と申請を行う。また、その内容に則り、定期的な訓練を実施する									9		11		13 13.1			16	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ (任意)		【予定】	・【予定】後継者育成について検討を行っており、計画書の作成を進めて行く								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
エネルギー使用合理化に対する改善対策を行う		・ポンプのインバーター化、管理棟空調機器の更新、天井照明のＬＥＤ化、変圧器の集約							7.2 7.3					12.4	13.3				
廃棄物の削減量をへらしていくための改善取り組み		・生産工程での良品率向上を行い、使用する資材使用量を減らすことによる廃棄物量の削減											11.6	12.4 12.5		14.1			

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定